

平成31年度 決算を認定

吉原 哲男氏を決算審査特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案どおり認定されました。
一般会計・特別会計の決算額については、10月号の「ほろのべの窓」でお知らせしておりますので、
質疑応答について掲載します。

一般会計（抜粋）

◆歳出

《総務費》

齋賀委員 町史記録用映像作成業務でどのようなものを作ったのか。

梶係長 平成26年度から基本120年に向けて動画を撮り溜めてきた。幌延と問寒別の生涯学習センターに各1台ずつシステムを設置し、自由に見られる仕組みを作っていく。

齋賀委員 協働のまちづくり活動支援事業予算2百万円に対し72万3千円支出しているが、何件分か。

梶係長 2件。

西澤委員 深地層研究等広報事業は、町外の人の活動に対して使用できるのか。

角山課長 深地層研究等広報事業は、幌延町深地層研究センターの事業を広報することや、事業の情報収集のために使用する。

西澤委員 寿都町、神恵内村の議会が幌延に見学に来たことはあるのか。

角山課長 見学者の内訳については把握していない。

高橋秀之委員 バイオプラ

ントの現状はどうか。

角山課長 平成31年度では、小規模循環型のモデルを作り、仕様を作った。

令和2年度は、それをモデル事業としてどう発信していくのか、どのように支援をするかが検討課題。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、なかなか進んでいない。

高橋秀之委員 3年前くらいに都市構想があった。国の政策の中で、町としても個別でやることで指定されている。集中型でやったほうが良いのではないかと言う農家もいる。

角山課長 産業都市構想を作る中で、アンケートを行った。大規模集中型だと高圧電線の制約もある。協働型モデルの選択肢も用意している。

齋賀委員 バイオプラント事業は31年度に3百20万円かけたと報告書では出ている。幌延町では3つのモデルを決めている。環境型農業の資金繰りをどうするか。農協に理解を求めているのか。

か。

角山課長 農協とは事務所での勉強会、個別に担当部署と話し合い、視察など情報共有している。資金繰りの面での調整も必要と考えている。

齋賀委員 幌延町でブドウを作っていると聞いたが、委託料の中に入っているのか。

角山課長 費用はかかっていない。天塩研究林と連携協定を結んでおり、その中でやっている。薬剤などはトナカイ観光牧場のものを使用している。

《民生費》

西澤委員 子育て支援センター運営費が平成30年度に比べて時間外保育が2百89名の利用から56名に減少している。理由は何か。

吉原園長 今まで短時間保育だった人が、フルタイムに変更した方が多くなり、時間外の利用が減少した。

齋賀委員 冬の生活応援事業で灯油購入助成件数は。
清水係長 1百13件。
齋賀委員 こざくら荘支援

事業予算増加の要因は。

清水係長 車両購入とこざくら荘の職員確保の問題で入所受入人数が減少したため。

無量谷委員 農業従事者など職業別に婚活事業の周知を行わないのか。

清水係長 酪農従事者等についても、協議会内で協議を行い、周知している。

《衛生費》

高橋秀之委員 不法投棄対策経費とはどんな内容か。

長山係長 林道豊幌線において、家電など不法投棄があったため、それらの処理費用。

《農林水産業費》

西澤委員 平成31年度はヒグマを何頭駆除したのか。
山本課長 7頭。

《商工費》

西澤委員 食ブランド創出・まちの拠点計画事業の進展状況はどうか。

伊山係長 試食会を行い、地元の特産品や地元で採れる食材を活用してお酒に合